

2018年11月15日  
日本船主協会 海務部

## 神戸大学海事科学部1年生を対象に座談会を実施

日本船主協会では2008年7月より人材確保タスクフォースを結成し、優秀な日本人船員確保のための広報活動を展開しております。

この度、2018年11月14日(水)に神戸大学 鶴甲第1キャンパスにおいて、海事科学部1年生を対象に座談会を開催しました。

この取り組みは、神戸大学海事科学部の1年生を対象に、海技者の仕事をより身近に感じてもらうことを目的とし、2015年度より毎年開催しているものです。今回は、川崎汽船株式会社より川尻隆大二等機関士、株式会社商船三井より木村竜士二等機関士、日本郵船株式会社より堤勇貴三等機関士の3名の若手海技者が、参加した1年生17名にそれぞれ対応しました。

今回の座談会では、海技者の仕事内容をはじめとし、乗船実習や海運業界への進路についてなど、若手海技者が自身のエピソードを交えながら助言を行いました。

軽食を取りながら和やかな雰囲気の中、学生からは「海上勤務と陸上勤務」、「航海士・機関士の具体的な仕事内容」、「船上生活」、「休暇の過ごし方」「英語の必要性」、などについて様々な質問がありました。海技者ならではのエピソードに驚きの声も多くあがりました。初めて知る内容も多かった様子で、大変興味深そうに話を聞く学生の姿が印象的でした。参加学生にとって、大学生活や将来を考える良い機会となりました。

当協会の人材確保タスクフォースでは、今後も優秀な日本人海技者確保に向け、関連機関と協力して幅広い活動を継続していくこととしています。

### 講師の方々



座談会の様子



川尻隆大 二等機関士



木村竜士 二等機関士



堤勇貴 三等機関士